

平成28年度 施策評価表

作成年月日：平成29年10月13日	課・グループ名	生涯学習課学校教育グループ
-------------------	---------	---------------

施策名	③高等学校の充実と支援 3-2-③		
------------	-------------------	--	--

1. 施策の現状分析及び展開方向

政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	3. 地域に根ざした教育と文化の高いまちづくり	(2) 農村環境を活かした学校教育の推進	③高等学校の充実と支援
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●南幌高校が目指す「魅力ある」学校づくりの取組みに対して、南幌高校振興協議会を通じて支援します。 ●高校生の通学費の一部を助成し、子どもの教育に係る保護者の経済的負担を支援します。 		
②施策の現状と課題	現 状 <ul style="list-style-type: none"> ●南幌高校では、以前より募集定員に満たない状態が続いており、平成25年度の入学選抜の結果、2学級から1学級となり、北海道教育委員会からは、今後の中学校卒業生数の状況等から、平成26年度から平成27年度について1学級とする公立高等学校配置計画が決定しています。 ●南幌高校では、ボランティア活動への積極的な参加、住民への公開授業の実施、学校広報誌の町内全戸配布等、地域の学校としての定着と充実に努めています。また、生徒指導の徹底、検定、資格の取得、インターンシップ活動及び平成24年度より2学年生徒全員に居宅介護従事者3級取得の取組みを行うとともに、進路指導の充実強化に努めています。 ●南幌中学校から南幌高校への進学率は低く、町外の高校への進学者が多い状況にあります。 	課 題 <ul style="list-style-type: none"> ●南幌高校への進学率を高めるため、地域に根ざした特色ある学校づくりを進める必要があります。 ●進学及び就職等の進路充実を図り、特色ある教育活動の展開や魅力ある学校づくりが求められています。 ●町外の高校へ通学させている保護者にとって通学費が負担となっています。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況

① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名		数値化			
	・南幌高校の間口数を確保しながら、高校を存続していくため、代替指標を設定している。		成果指標 (総合計画・施策評価)			可能		
						不可能		
			代替指標 ※成果指標がない場合		○	未計測		
		南幌高校の間口数		○	可能			
					不可能			
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。								
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由	
		H25	H26	H27	H28	H28		
	目 標	間口	2	1	1	1		1
	実 績	間口	1	1	1	1		1
	達成率	%	50.0	100.0	100.0	100		100
評価視点		評価結果			理由、課題・問題点			
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)			施策の達成度	北海道教育委員会の公立高等学校配置計画により、平成32年度までは、1学級の募集間口となっている中、募集定員に対して欠員が続いている状況であり、南幌高校の「魅力ある学校づくり」を支援する必要がある。		
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)						
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)			C			
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)						

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が適当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果										施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>			
事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H28)		事務事業の内容	必要性	妥当性		事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)	
					目標	実績						H28実績	H29予算
1	南幌高校振興協議会助成事業	(1)	生涯学習課	南幌高校の生徒数のうち1年生の人数	40	人	南幌高校の生徒数減少や学区見直しなどの変化に対応するため、魅力ある高校づくりに向け取り組む、広報、文化、部活動及びインターンシップ活動等に対する支援(交付金)を行う。	Ⅱ	Ⅰ	2-1 見直して継続 拡大	895	高い	
					19	人					2,700		
2	高校生通学費補助事業	(1)	生涯学習課	対象者の支給率	87.6	%	・高等学校への通学に要する公共交通機関の通学定期券購入費の1/2を助成する。(一ヶ月10,000円限度)	Ⅱ	Ⅰ	2-1 見直して継続 拡大	14,435	高い	
					85.7	%					18,603		
3													
年度別施策全体の事業費合計(千円)													
H28事業費										15,330			
H29予算										21,303			

②H29に実施した新規事務事業				
実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H29予算(千円)
1				
2				
3				

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	・南幌高校の更なる「魅力ある学校づくり」を進めるために、継続的な支援が必要である。 ・高校生通学費補助事業は現在、通学定期購入に対する助成のみであり、他の通学方法等に対する助成を検討する必要がある。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	B	

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降の子算の方向性	
			A	1	1				
			B					○	拡大
			C						維持
			D						縮小